

標 題 津和野町の認定新規就農者が美味しまねゴールド（美味しまね上位認証）取得！！

（ダイジェスト）

津和野町の認定新規就農者である篠原正和氏は、スイートコーンで美味しまねゴールドを申請し、現地審査(5/13)を経て、7月31日の認証書交付式にて丸山知事から認証書が交付され、津和野町内で初めての美味しまね認証取得者となりました。美味しまねゴールドはJGAPと同程度の水準として平成31年1月からスタートし、今回初認定となる7件が承認されました。

I ターンして津和野町で就農2年目の認定新規就農者である篠原正和氏は、山菜、にんにく、スイートコーンなどを生産しており、今回の審査会ではスイートコーンで申請を行い、津和野町内で初めて美味しまね認証を取得されました。

これまで津和野町内では美味しまね認証取得者がいなかったこともあり、GAP についての取組があまり認知されていませんでした。そこで、昨年度 GAP を知ってもらうきっかけや取組のイメージをもってもらうため、GAP について関心のある新規就農者を対象に参加者を募り、西部農林振興センター農政部から GAP や美味しまね認証についての説明と現地のは場や調製場で具体的な改善点について話を聞きました。その後、美味しまねゴールドの取得について意欲を示された篠原氏は、記録様式やリスク対策など数多くの書類作成や整理整頓を行い、普及部も農政部と連携して助言や支援を行いながら取り組みを進めていき、今回の美味しまねゴールド取得となりました。

交付式後の懇談では、大型スーパーで「篠原さん家の朝採れとうもろこし」の特設コーナーが設置されるなど取引においても広がりを見せていることを丸山知事へ報告し、今後は制度とともにPRしていくことでより積極的に消費者へ情報発信が可能になると考えられます。

当普及部としては、津和野町内や新規就農者で今後 GAP の取組がさらに進んでいくよう引き続き関係機関と連携して支援していきます。



現地審査(5/13)の様子



交付式(7/31)の様子



大型スーパーの特設コーナーの様子